

Ⅲ 畜水産物の安全性確保と危機管理対策

1. 令和3年度備蓄用ワクチン等の検査実施状況

名称	ロット数	検査項目	検査期間 ¹⁾
鳥インフルエンザ(油性アジュバント加)不活化ワクチン	1ロット	無菌試験、安全試験、力価試験	令和3年6月～10月
豚熱生ワクチン(シード)	1ロット	ウイルス含有量試験	令和3年8月～9月
口蹄疫不活化予防液(3価)	1ロット	特性試験、pH測定試験、無菌試験、不活化試験、異常毒性否定試験	令和4年5月～6月

1) ワクチン等を購入した年度と一致しない場合がある。

2. 令和3年度動物用医薬品の使用に伴う事故防止・被害対応業務の実施状況

(1) 令和3年度に受けた苦情等の相談

番号	相談者	対象医薬品の種類	相談内容	当所の対応
R3-1	一般	人用医薬品	当該製品の副作用について	回答
R3-2	一般	動物用医薬部外品	当該製品の副作用について	回答
R3-3	一般	その他	その他	回答
R3-4	一般	動物用一般医薬品	当該製品の副作用について	回答
R3-5	一般	動物用生物学的製剤	当該製品の副作用について	回答
R3-6	一般	動物用医薬部外品	当該製品の副作用について	回答
R3-7	一般	動物用医薬部外品	当該製品の副作用について	回答
R3-8	一般	動物用一般医薬品	当該製品の副作用について	回答
R3-9	獣医師	動物用生物学的製剤	当該製品の副作用について	回答
R3-10	一般	動物用一般医薬品	その他	回答
R3-11	一般	動物用一般医薬品	その他	回答
R3-12	一般	動物用一般医薬品	当該製品の副作用について	回答
R3-13	一般	動物用一般医薬品	当該製品の副作用について	回答
R3-14	一般	動物用一般医薬品	当該製品の副作用について	回答

(2) 令和元～令和3年度に各都道府県から提供された野外流行株等の収集状況

(単位は株数)

		元年度	2年度	3年度
変異や変遷等の指標となる微生物 ¹⁾	アクチノバシラス・プルロニューモニエ			33
	豚丹毒菌		3	1
	豚繁殖・豚呼吸障害症候群ウイルス	58	37	32
	豚サーコウイルス2型	56	34	20
	豚サーコウイルス3型	30	11	7
野外微生物環境変化の指標となる微生物	牛、豚及び鶏(患畜)由来の大腸菌	236	216	256
	マンヘミア・ヘモリチカ	88	71	79
	ストレプトコッカス・スイス	61	42	34
合計		529	414	462

1) 細菌株はワクチンの有効性と合わせて薬剤耐性も調査

令和元年度までの検査結果は当所ホームページに掲載中